

<名東すまあとデー ～1月を振り返って～>

1月は、「あいさつ名人・達人・鉄人・超人になろう」というテーマで取り組んでいます。これは、2月も続けていくテーマです。あいさつ名人・達人・鉄人・超人は、昨年度、本校職員が考案したもので、右のようになっています。自分から相手の目を見てあいさつをしている子どもに、「すばらしい。あいさつの達人だね」などと声を掛けると、子どもたちはうれしそうな表情を見せ、その後も進んであいさつをしています。

あいさつ名人：自分から

あいさつ達人：自分から

相手の目を見て

あいさつ鉄人：自分から

相手の目を見て

場面に応じた方法で

あいさつ超人：自分から

相手の目を見て

場面に応じた方法で

気持ちを込めて

あいさつができるようになると、様々な人と関わることができ、子どもたちにとって大きな成長につながると考えます。それは、校内だけでなく学校外でも進んであいさつできるようになってほしいものです。そのために、大切にしていることは、子どもたちにあいさつをさせるのではなく、あいさつがしたくなるようにすることです。「あいさつをしていないからあいさつをしましょう」では、子どもたちにとって義務感しかなく、長くは続きません。子どもたちの成長は、時間がかかります。学校だけでなく、保護者、地域の大人が子どもたちの成長を願い、声を掛け続けていくことで、自分からあいさつのできる子ども、地域となるのではないのでしょうか。あいさつあふれる名東小学校・名東小学区にしていきたいですね。

<持ち箸継続のお願い>

9月より箸の持参にご協力をいただき、ありがとうございました。家庭から持参する箸を使い、「児童の手にあった大きさの箸やスプーンを使うことができる」、「お気に入りの箸やスプーンを使うことで道具を大切に使う」などの利点が見られましたので、通常給食移行後も持ち箸を継続します。

引き続きご協力をお願いします。